

ツバメ通信

広報誌 10月号

紅葉狩り



三春ダムへ紅葉ドライブに出かけました。
紅葉も色付きはじめ、道中も三春ダムもとても綺麗でした。
三春ダムではベンチに座り、景色を見ながら遠足気分でおやつを頂くことが出来ました。
天候にも恵まれ、久しぶりの外出を、お客様・職員みんなで楽しむことが出来ました。

介護職員 斎藤 和子



 **Happy Birthday** 

HAPPY BIRTHDAY



心愛会
社会福祉法人
Harmony Copain

ハーモニー中田





WEBで検索 

こちらから Google マップで確認いただけます。 

ホームページ QR 

職員のつぶやき・・・⑤（エピソード編）

管理者 村田

介護職が求める達成感について、あるエピソードを通じて考えてみました。
以前、私が介護職を始めて4～5年だった頃のエピソードです。ある男性のお客様が、いつも中庭にある小さな畑を眺めていました。その男性のお客様は、その畑を窓越しに雨の日も晴れの日も小さな声で、“あのままにしては畑ダメになっちゃう”、“水やらないとダメだ”とか“真ん中あたりを畝らせないとダメなんだよな”と呟いていました。

ある時、そのお客様が夜起きてきて、椅子に静かに座られ、“ハー参ったな・・・。”と、ため息を吐かれながら俯きました。私が声をかけると、“俺は何もできねんだ”と繰り返す話す。私が理由を尋ねると、畑をどうにか元気にしたのだというのである。

私はそのニーズに応えたいと思い、翌日から窓越しに見ているそのお客様に声をかけると、“よしいくぞ”と長靴や軍手を持って私に“一緒に来い”と意欲を見せながらその畑に向かいました。中庭に着くと、鍬を持たれ“畑を畝らすというのはこうやるんだ”といきいきした様子で私に話しかけました。そのお客様はご高齢のため少し実施すると疲れてしまい、私に指導するように“今のようにやってみろ”と話しました。その姿をゆっくり腰掛けながら笑顔で見っていました。

私はしばらく教わった通り行い、“どうですか？”とお聞きすると“まあいいだろ”とその場を立ち、満足したのか部屋に戻る様子でした。それからは、私に何度もその畑について沢山嬉しそうに話すことが日課になっていました。その方は持病があり、お年も高齢であったため最後の最後まで畑をこよなく愛されながら生涯を閉じました。家族もそのエピソードを常々聞いており、電話越しに“本人も本望であったと思います。本当にありがとうございました。”と感謝の言葉を私に伝えてくれました。私は、その言葉だけで十分でした。

このエピソードを通じて、私は介護職にとって大事なものは、自身がどれだけ心の底から語れるエピソードを持っているかだと思いました。介護職は、利用者のニーズに応えることが求められますが、その中で自分自身がどれだけ成長し、達成感を感じられるかが大切だと思います。皆さんも、心の底から感じたエピソードを持っているかもしれませぬ。

● 介護サービスの上手な使い方⑤～自宅で過ごしながら～

在宅サービスの中には、大きく分けて通所して利用するサービスと訪問を受けて利用するサービスがあります。今回は、「通所して利用するサービス」を紹介します。

通所介護(デイサービス)

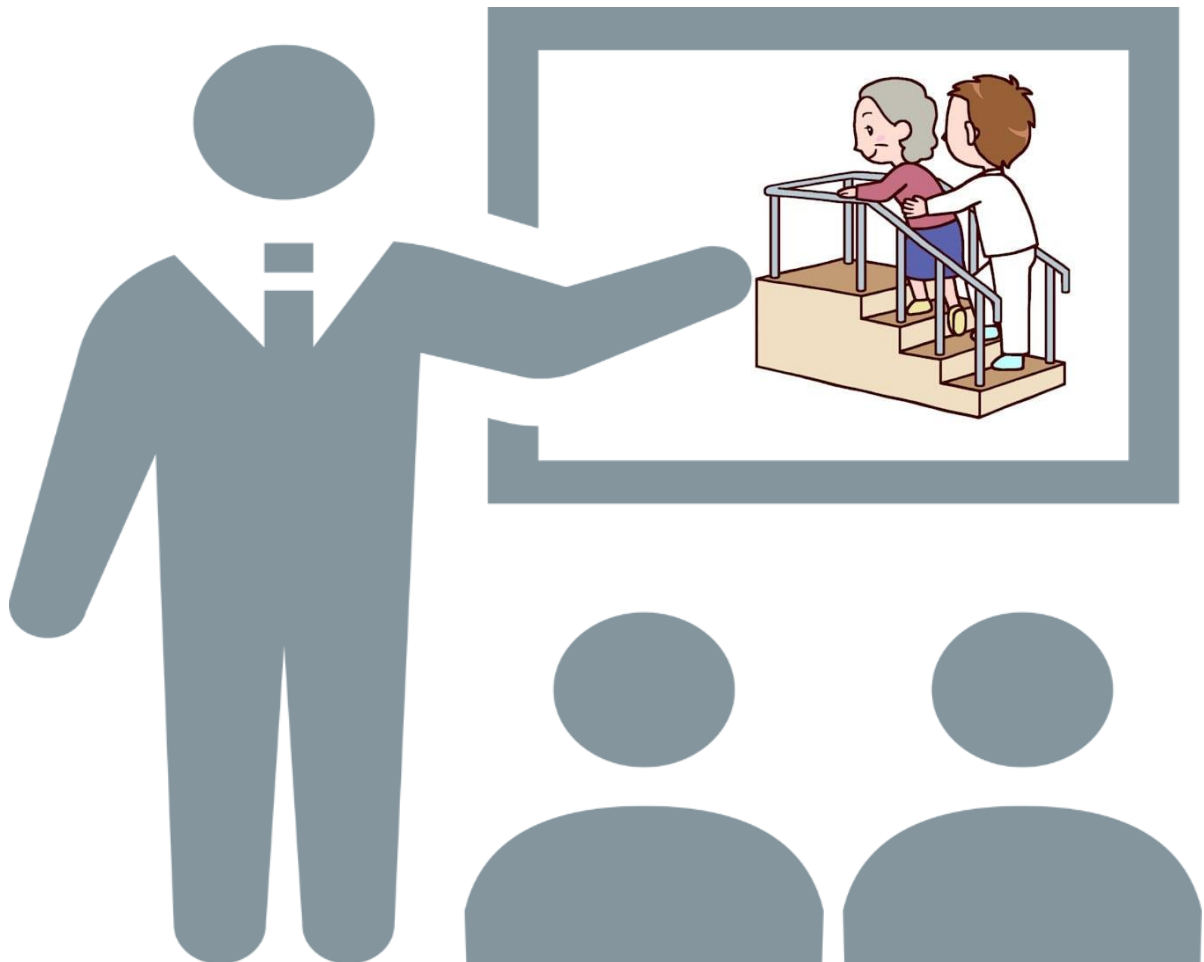
施設へ通い、日常生活上の支援や日常生活の動作訓練やレクリエーション等を通じた他者交流。健康状態の確認。入浴などのサービスが受けられます。



通所リハビリテーション



老人保健施設や医療機関等で、食事や入浴などの日常生活上の支援や、専門職(理学療法士や作業療法士)によるリハビリテーションを日帰りで行います。



～なかたの日常風景～



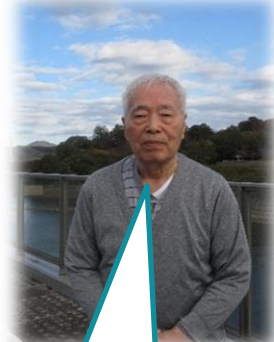
一緒に撮りましょう



帰りたくないなー



下見ると怖いね



天気もいいね

三春ダムにドライブへ行きました



出先でも職員のように動く方がいるものです(感謝)



事業所の面会について



1玄関前での面会となりますが、以前と同様に体温の確認をさせていただいております。

2面会前には、事前に連絡をお願い致します。

3近親者等に発熱・倦怠感・咳症状がある場合は事業所への来設はお断りさせていただいております。

※今後のコロナ感染状況により面会方法を適宜変更させていただきます